

令和7年1月

1 木材価格

(1) 主要品目別価格

- 素材の価格(中丸太)の前月の比較では、ヒノキ、アカマツで値を上げ、スギ、カラマツ、アカマツで値動きはありません。
- 素材の価格(中丸太)の前年同月の比較では、ヒノキで値を上げ、スギ、アカマツ、カラマツで値を下げ、ミツガで値動きはありません。
- 製材品の価格の前月の比較では、スギ(正角・乾燥)、カラマツ(板材)で値を上げ、ヒノキ(正角・乾燥)、アカマツ(板材)、ミツガ(正角)で値動きはありません。
- 製材品の価格の前年同月の比較では、カラマツ(板材)、ミツガ(正角)で値を上げ、スギ(正角・乾燥)、ヒノキ(正角・乾燥)で値を下げ、アカマツ(板材)は値動きはありません。

(2) 素材価格

- 前月との比較では、小丸太では、値動きはありません。中丸太では、ヒノキ、アカマツで値を上げ、カラマツの一部で値を下げています。外材では値動きはありません。エゾマツ・トドマツ、北洋カラマツは入荷がありません。大丸太では、カラマツの一部で値を下げています。
- 前年同月の比較では、小丸太では、ヒノキ、カラマツで値を下げています。中丸太では、スギの一部、ヒノキで値を上げ、スギの一部、アカマツ、カラマツで値を下げています。外材では、値動きはありません。大丸太では、スギの一部で値を上げ、スギの一部、カラマツの一部で値を下げています。

(3) 製材品価格

- 前月との比較では、正角のスギの一部、板のスギの一部、カラマツで値を上げています。平割、平角、外材(正角)では値動きはありません。
- 前年同月の比較では、正角のスギの一部、ヒノキ、アカマツ、カラマツ、平角のマツ、カラマツで値を下げ、正角のミツガ、板のスギ、カラマツで値を上げています。
- 乾燥材は未乾燥材と比べ、
スギ(10.5角、12角)で 12,000～14,900円割高です。
ヒノキ(10.5角、12角)で 14,000～17,700円割高です。

(4) その他

- 木曽国有林材(丸太)は、前月、前年同月でヒノキ、サワラにおいて値動きはありません。
- カラマツ杭丸太は、前月、前年同月で値動きはありません。
- パルプ材は、前月、前年同月で針葉樹、広葉樹において値動きはありません。

2 県内市場における素材入荷量及び販売量(令和6年12月)

- 入荷量は前年同月と比較して、北信、中信、伊那で増加し、木曽、南信、飯伊で減少しています。
- 販売量は前年同月と比較して、北信、中信、伊那で増加し、木曽、南信、飯伊で減少しています。

3 県内新設住宅着工戸数(令和6年12月)

- 前月との比較では、総数で約6%の増、木造住宅で約9%の増です。
- 前年同月との比較では、総数で約4%の減、木造住宅で約1%の減です。

注:統計用の資料であるため、実際の売買価格とは異なります。